

横田基地におけるオスプレイ離発着状況の目視確認等の
終了について（口頭要請）

令和元年10月8日、北関東防衛局から、「横田飛行場におけるCV-22オスプレイ離発着状況の目視確認及び離発着回数の情報提供終了について」と題して、横田基地でのCV-22オスプレイの日々の目視確認および毎月の離発着回数の情報提供を終了する旨の連絡がありました。また、10月9日には、同様のお知らせが北関東防衛局ホームページに掲載されました。

本市では、これまでも国に対して、周辺自治体への正確な情報提供と、十分な説明責任を果たすよう要請してきました。

ところが国は、正式配備から3か月後の本年1月には、毎日実施していた目視情報の提供を月1回の集計情報に変更するとともに、土曜日および日曜日の目視を中止し、さらに今回は、正式配備後1年を経過し、離発着状況の継続的・定量的な情報提供が一定の役割を果たしたとして、10月以降の目視情報の提供を終了すると通告してきました。

CV-22オスプレイは、2024年頃までに5機の追加配備が予定されている中、本市の住民は、依然としてオスプレイの運用に対する関心が高いことから、下記のとおり要請します。

記

- 1 令和元年10月1日以降も、横田基地におけるオスプレイの目視による情報提供を継続すること。
- 2 CV-22オスプレイについては、本市上空を飛行する姿がたびたび目撃されていることから、このような取組を終了する予定がある際には、基地隣接自治体のみならず、前もって本市へも情報提供すること。

令和元年10月11日

北関東防衛局長 松田尚久 殿

青梅市長 浜中啓一